学習指導方針（スクールポリシー）

（１）習熟度別授業、ＡＬ型授業を充実し、授業力を向上する。

生徒の習熟度に応じて指導内容を精選し、学習法（指導法）や到達目標を明示して指導する。アクティブラーニング型の授業の導入や、ICT機器を利活用して視覚的な効果を上げることにより興味・関心を高め、指導の焦点化・効率化を図った上で、他者と協働して思考する場面を設定する。また根拠を付して自分の考えを論理的に書いたり発表したりし、互いに評価し合う活動を通して批判的思考力やコミュニケーション能力を高める。

（２）生徒が主体的、能動的に学ぶ姿勢を育成する。

学習の成果として身につけた知識や技能を活用して、生徒自らがより思考を深め、実践に移す機会を設ける。基礎学力の定着を図るとともに、事前学習を前提とした授業を展開して応用的な学習に挑戦させ、また、地域と連携して実社会で自らの技能を試行する機会を設け、その成果を評価することにより生徒に達成感や自己肯定感を持たせる。

（３）３年間を見通した組織的な教科指導と進路指導の実践を図る。

学習成果の分析を踏まえ、各教科において指導目標を明確にするとともに、3年間を見通した教科指導力の改善・向上・充実に努める。生徒が理解度・到達度を確認し、自己の課題を分析するとともに、課題を克服して新たな到達目標を設定できるよう、各教科で指導内容を改善しつつ、教科間で連携したな組織的な指導体制を構築する。また少人数指導の利点を生かし、個に応じた粘り強い指導で生徒の可能性を伸長し、個々の生徒の進路実現を目指す。